

2026年度 事業計画

(2026年4月1日～2027年3月31日)

1. 第21回研究大会

1) 第21回研究大会

: 2026年9月5日(土) 東京大学 本郷キャンパス

(研究大会長: 康永 秀生 先生 東京大学大学院医学系研究科 臨床疫学・経済学 教授)
にて開催する。

シンポジウムについては、オンライン配信も並行して実施する。

2. 編集委員会

1) 学会誌/機関誌の発行

医療経済・医療政策の発展に少しでも貢献することを目的とし、医療経済・医療政策研究の発展を図り、医療政策立案及び評価に学術的基盤を与える。

また、医療経済・医療政策の分野において調査、研究の発表の場や、産、官、学を問わず意見交換、学術討論の場を提供する。

・医療経済研究の発刊

Vol.38 No.1 2026年10月予定

Vol.38 No.2 2027年3月予定

・Asian Pacific Journal of Health Economics and Policy の発刊

Vol.9 No.1 2026年予定

2) 委員会の開催

編集委員会を2026年5月、11月頃に開催し、例年の編集委員会の検討内容に加え、医療経済研究/APJHEPの誌面充実や引用数を増やす施策に対する議論・検証を行う。

3. 学術推進委員会

1) 若手研究者育成のためのセミナーの開催

若手研究者(主に大学院生)の育成を目的とし、各分野の指導層からの教育フィードバックするセミナーを開催する。

・第26回若手研究者育成のためのセミナー: 第21回研究大会との同時開催を予定する。

・第27回若手研究者育成のためのセミナー: 2027年3月頃の開催を予定する。

2) 委員会の開催

学術推進委員会を開催し、若手研究者育成のためのセミナー開催について検討・準備を行う。

4. 国際交流委員会

1) 国際交流活動

国際交流委員会では、学会員の国際交流の活発化を目的とし、以下の活動を行う。

- ・国際セッション

第16回国際セッション（主催：台湾、日時：2026年9月19日）開催に際し、学会員の国際交流の支援を行う。

2) 委員会の開催

国際交流委員会を開催し、国際セッションの開催及び学会員の国際交流活性化に向けた活動について検討を行う。

5. ホームページ等を通じた情報発信

学会では、学会員への情報提供等のサービスの充実と、対外的な広報活動を目的とし、HP等を通じて以下の活動を行う。

1) 学会員に対する情報発信・サービス

・研究大会情報（事前案内、演題プログラム、抄録集の閲覧サービス）を充実させ、タイムリーな提供を行う。

・学会会員に対しては、医療経済研究機構の会員向けホームページを無料で閲覧可能とし、調査報告書等を入手することができるよう継続して優遇する。

・Facebookの管理および学会HP上の研究室訪問および採用情報の管理については、継続の可否も含めた判断を理事会で引き続き検討する。

2) 非学会員に対する情報発信

・学会への関心を高めるため、非学会員に対しても発信できるコンテンツについて検討する。（たとえば医療経済研究の特別寄稿の一部や、学会シンポジウム記録など、政策的関心の高いテーマなどについて選択的に情報公開するなど）

3) 海外に向けた英文HPの検討

・Asian Pacific Journal of Health Economics and Policy や関連の成果、ならびに日本における医療経済学の学術的・政策的活動について、アジア地区ならびに世界の関心に応えるため、英文HPの充実について引き続き検討を行う。

以上